

令和2年度(第13回)「国土交通大臣賞(循環のみち下水道賞)」

広報・教育部門

応募事例名

いつも身近に「下水道」を！ オリジナルデザインマンホールグッズの製作と販売

応募団体名)北谷町

応募事例の概要

沖縄県では、下水道の日関連事業として県が中心となって県内21自治体で「沖縄県下水道マンホールスタンプラリー」を共催しています。

本町では、その賞品として町のイメージキャラクター「ちーたん」を意匠に用いたデザインマンホールのグッズを製作、配布しました。また、一部は上下水道庁舎において販売をしています。

公共団体が製作する広報頒布物は「安く、多く」になりがちですが、「ある程度の品質を確保し、長く日常で使ってもらえる」を重視して取り組みました。

賞品を受け取った参加者や窓口での評判は上々で、「かわいい！」「普段使える！」との声をいただいております。

また、「マンホールブーム」が各メディアに取り上げられている昨今、既存事業である観光客集中エリアへのカラーマンホールの設置や、マンホールカードの配布と併せ、このグッズ展開は「観光振興を見据えた下水道広報」として議会(委員会)においても評価されました。



PRポイント

- ・普段使えるアイテムにしたことで、下水道を意識するきっかけを日常に入れ込むことができた。
- ・下水道のみならず観光振興につながる広報活動ができた。
- ・販売することで製作費用の一部を回収できた。